

* 聖霊の働きはその実によって示される。「御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。」(ガラテヤ 5 : 22 ~ 23)

御霊の働きが満ちた聖徒たちの集まりが教会である。教会は聖霊の実が集まった姿である。それゆえ、聖霊は教会を産みだす原動力であった。また、教会を成長させる力でもあったし、今もそうである。

* 最初に生まれた教会の姿から 5 つの聖霊の働きが認められる。

1. 使徒たちによって多くの不思議とするしが行われた。(使徒 2 : 43) 「使徒」と呼ばれた一部の弟子たちは主イエスが持っておられた奇跡を行う力が与えられていて、神様のわざをあらわし、神様を畏れる気持ちが皆の中に生まれた。
2. 彼らはイエス・キリストのことばに従って生活していた。
彼らは先ずペテロのことば(=イエスのことば)を受け入れた(2 : 41)。そして「使徒たちの教えを堅く守り」(2 : 42) イエスのことばどおりを生きた。それはキリストを思い出させてくださる聖霊の働きによるものであった。
3. 彼らは交わりをしていた。「交わり」とは「共有」「分かち合い」という意味。物的共有(2 : 44 ~ 45)だけでなく、お互いに助け合い、譲り合い、赦し合い、分け合うという主にある者たちの心の共有があった。「喜びと真心をもって食事を共にし」共に食べ、語る喜びを持ち(2 : 46)、「祈りをしていた」(2 : 42) 交わりの最も大切な手段は祈りである。
4. 彼らは礼拝していた。「神を賛美し」(2 : 47)「毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを裂き」(2 : 46) 彼らは毎日神殿や個人の家を集まって礼拝していた。「パンを裂く」とは、通常の食事ではなく、イエス・キリストの十字架とよみがえりを覚えるための、いわゆる「聖餐」のことである。パンとブドウ酒という物質が聖霊によってキリストと結び付けられ、キリストの臨在を体験することができるのである。
5. 彼らは救われる仲間を得ていった。「すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。」(2 : 47) 聖霊によって導かれる教会は、その根本目的は「すべての人が救われる」ことである。クリスチャン同志の礼拝や交わりは素晴らしいものであるが、私たちの心と行動は常に「外に向かって」いなければならない。イエス・キリストの素晴らしさを証しして教会の外に人たちに好意を持たれるように日々歩んでいきたい。聖霊にゆだねて。